



総合接着・樹脂加工

ポパール興業株式会社

私たちはソリューション・ビジネスを推進します

東証スタンダード・名証メイン | 4247

2025年3月期

通期決算説明

補足資料

2025年5月14日



目次



総合接着・樹脂加工
ポパール興業株式会社
私たちはソリューション・ビジネスを推進します

①

決算概要

②

中期経営計画

① 決算概要



総合接着・樹脂加工
ポパール興業株式会社
私たちはソリューション・ビジネスを推進します

- 1 2025年3月期通期決算概要
- 2 業績推移
- 3 トピックス

1. 2025年3月期通期決算概要<連結>

単位:百万円

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年3月期			
	通期	通期	通期			
			2025年3月期 実績	当初予想 (5/14発表)	対前期	対予想
売上高	3,566	3,589	3,378	3,470	-5.9	▲2.7
営業利益 (営業利益率)	368 (10.3%)	317 (8.9%)	238 (7.1%)	260 (7.5%)	-24.9	▲8.3
経常利益 (経常利益率)	383 (10.7%)	345 (9.6%)	267 (7.9%)	280 (8.1%)	-22.5	▲4.3
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	256 (7.2%)	185 (5.2%)	80 (2.4%)	138 (4.0%)	-56.6	▲41.7

単位:円

一株あたり配当	36.0	37.0	38.0	38.0	+1.0	-
配当性向(%)	37.0	52.5	124.3	-	-	-

1. 2025年3月期通期決算概要<売上高>

(百万円)

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

■ 売上－総合接着樹脂加工 ■ 売上－特殊設計機械

3,566

21.0%

79.0%

3,589

16.0%

84.0%

3,378

15.9%

84.1%

2023年3月期

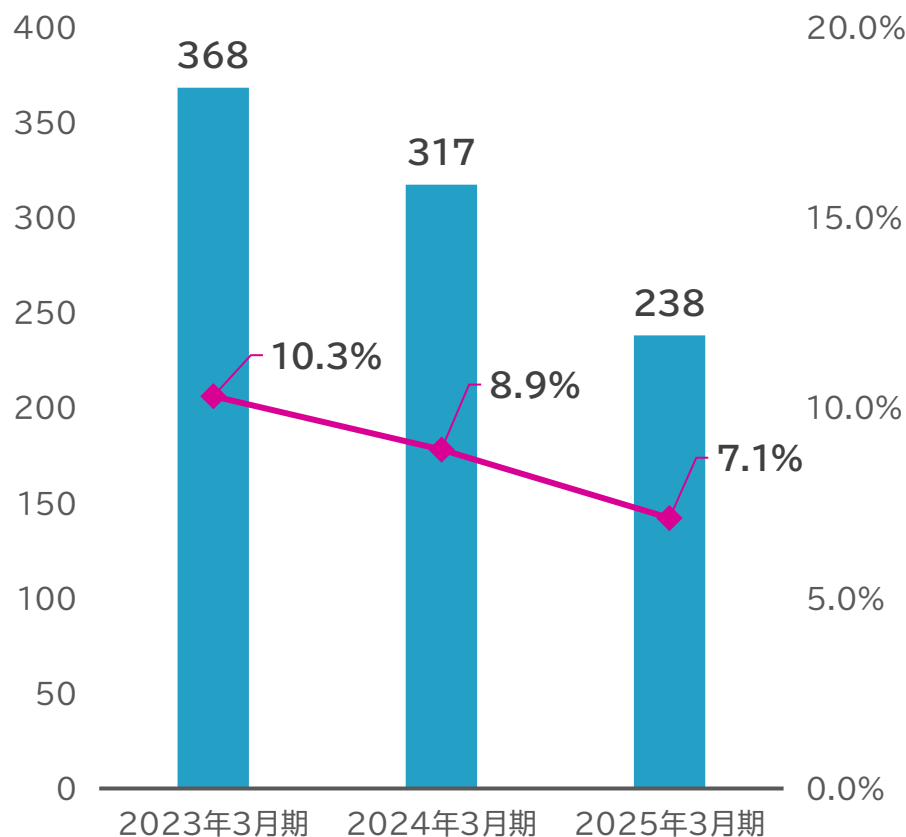
2024年3月期

2025年3月期

1. 2025年3月期通期決算概要〈営業利益・経常利益〉

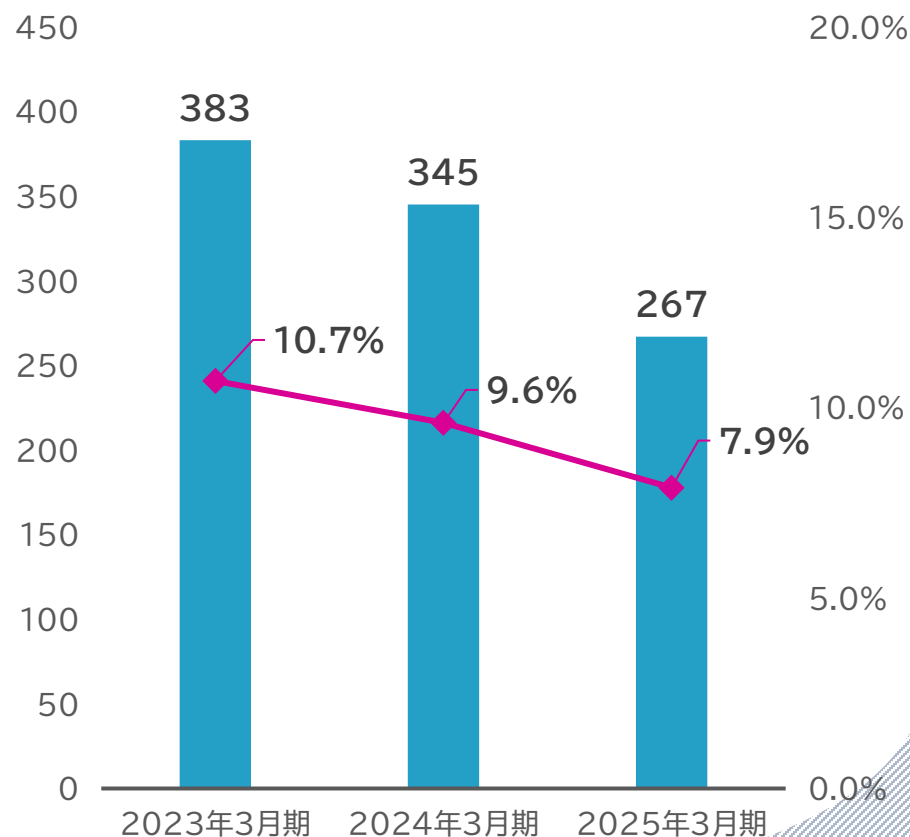
営業利益(百万円)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

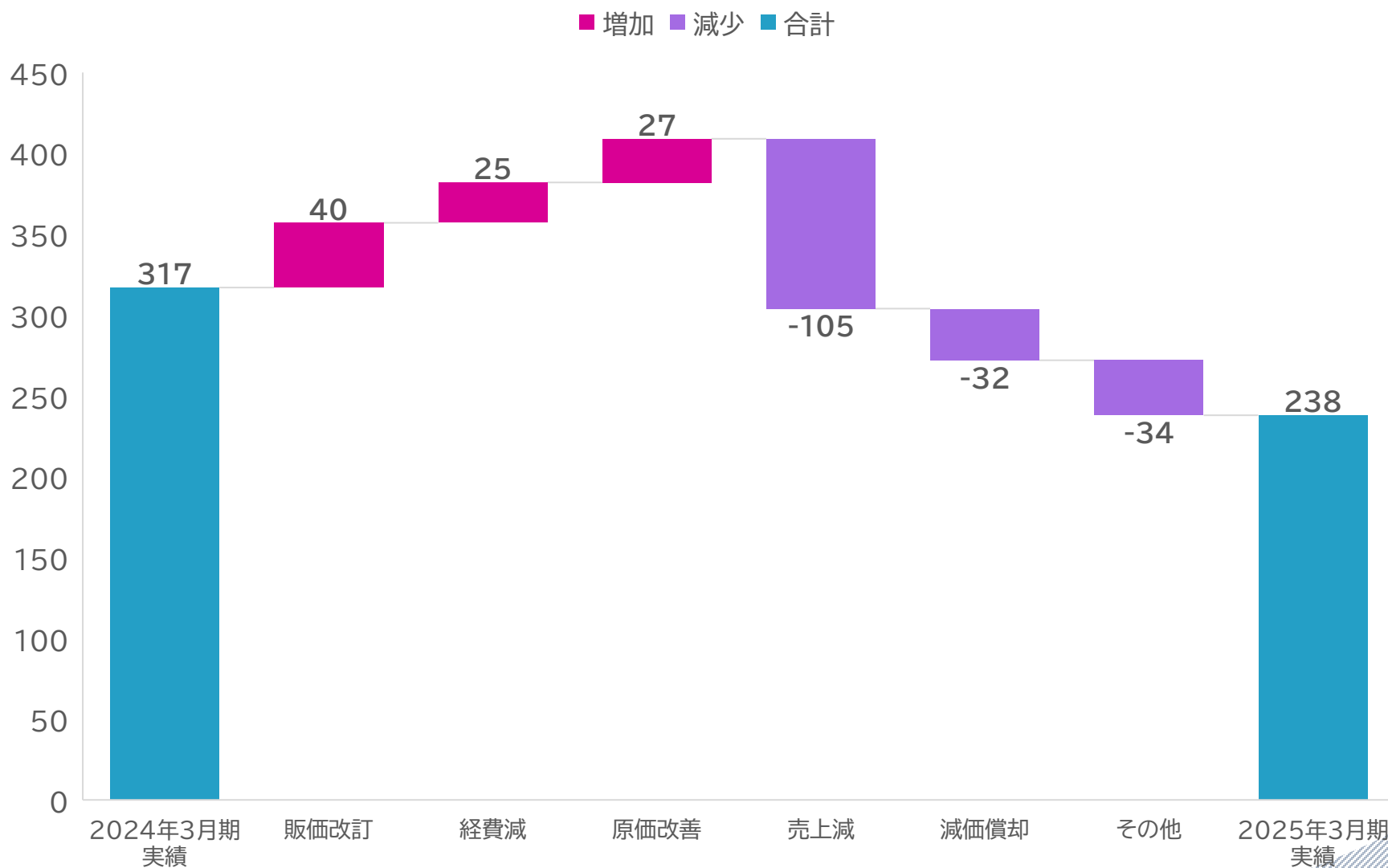


経常利益(百万円)

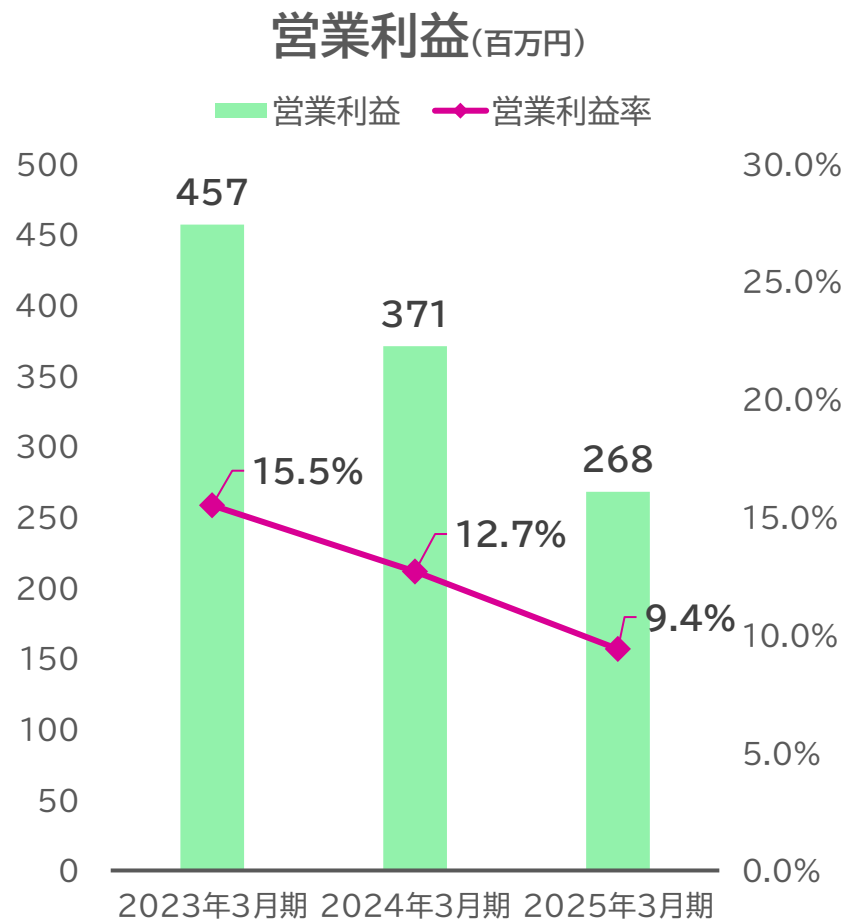
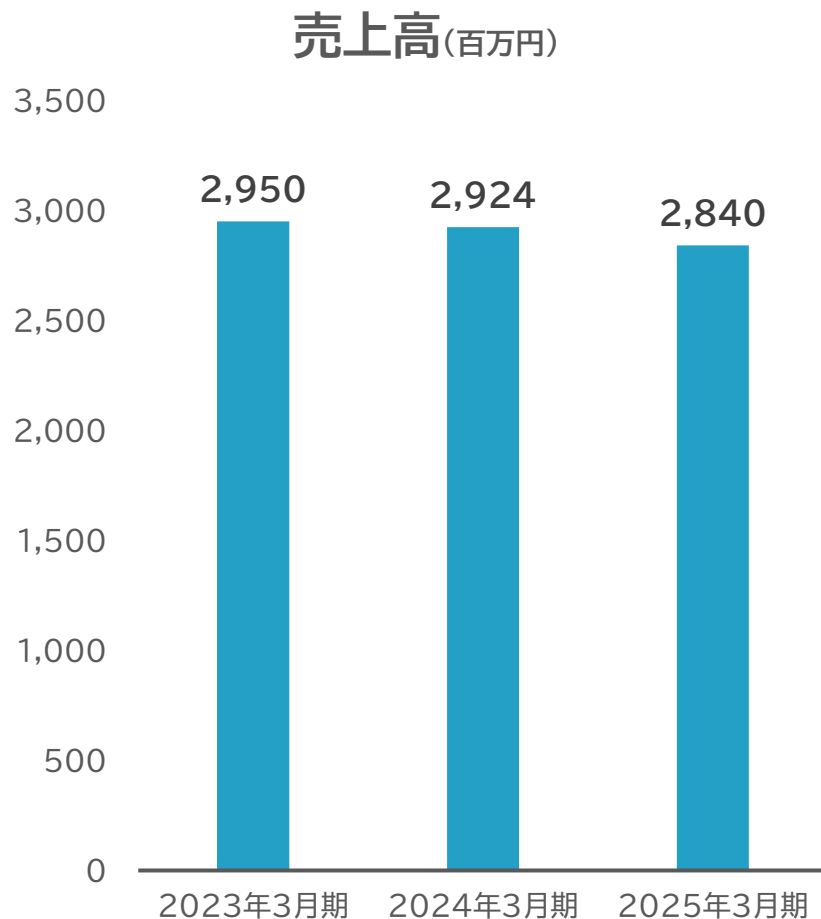
■ 経常利益 ◆ 経常利益率



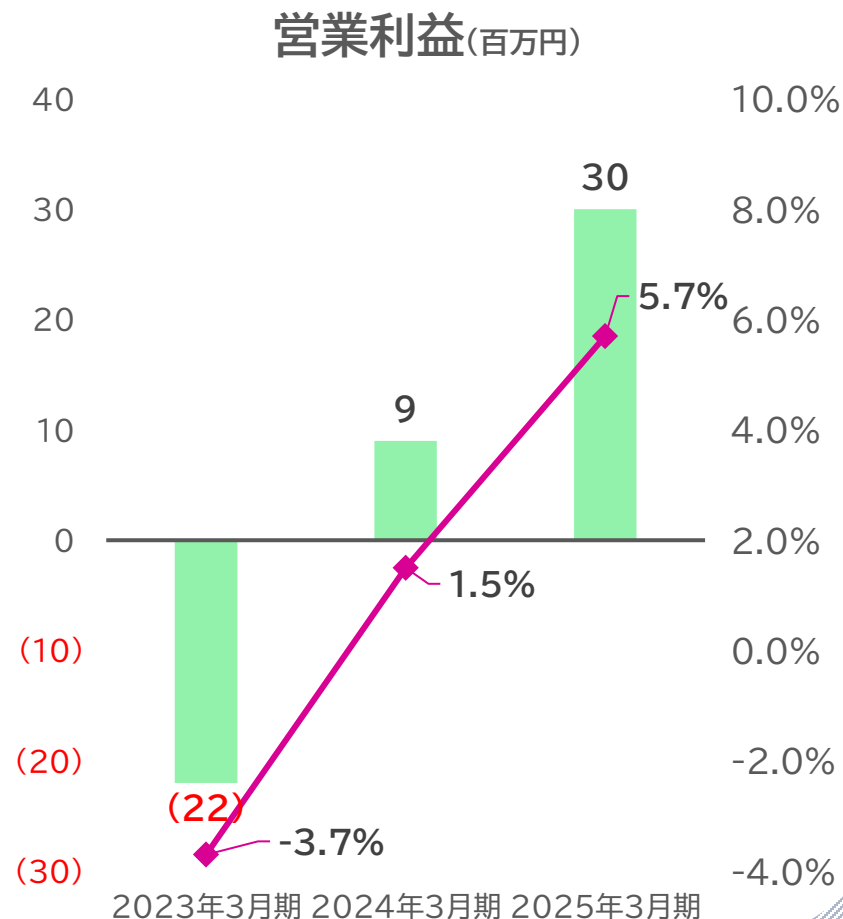
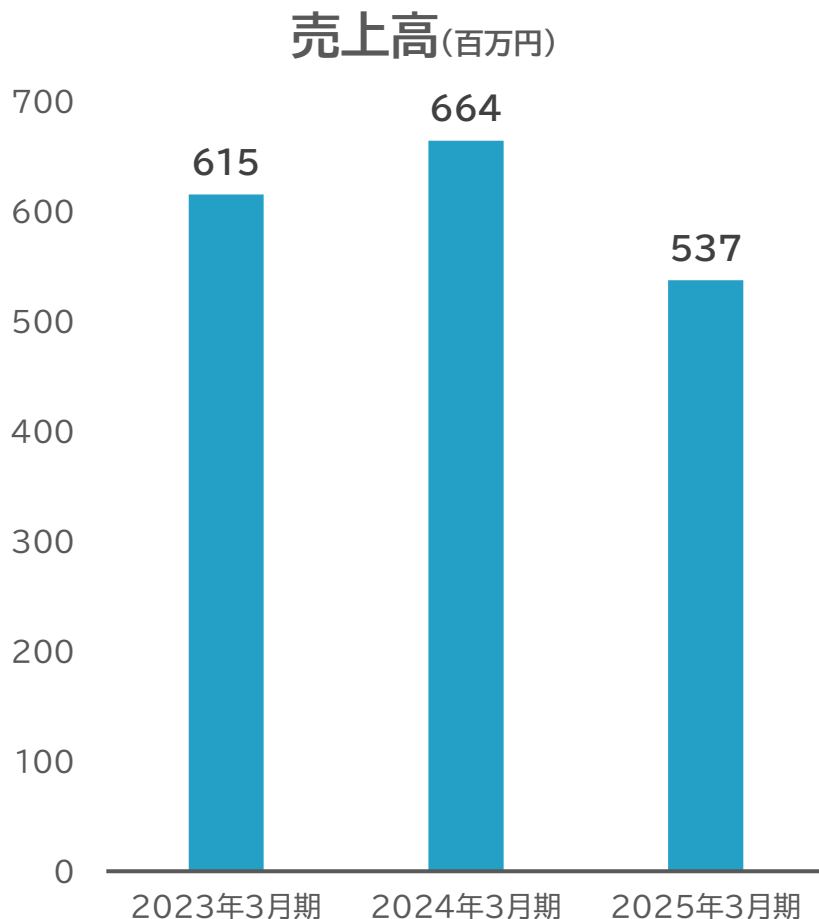
1. 2025年3月期通期決算概要〈営業利益・増減分析〉



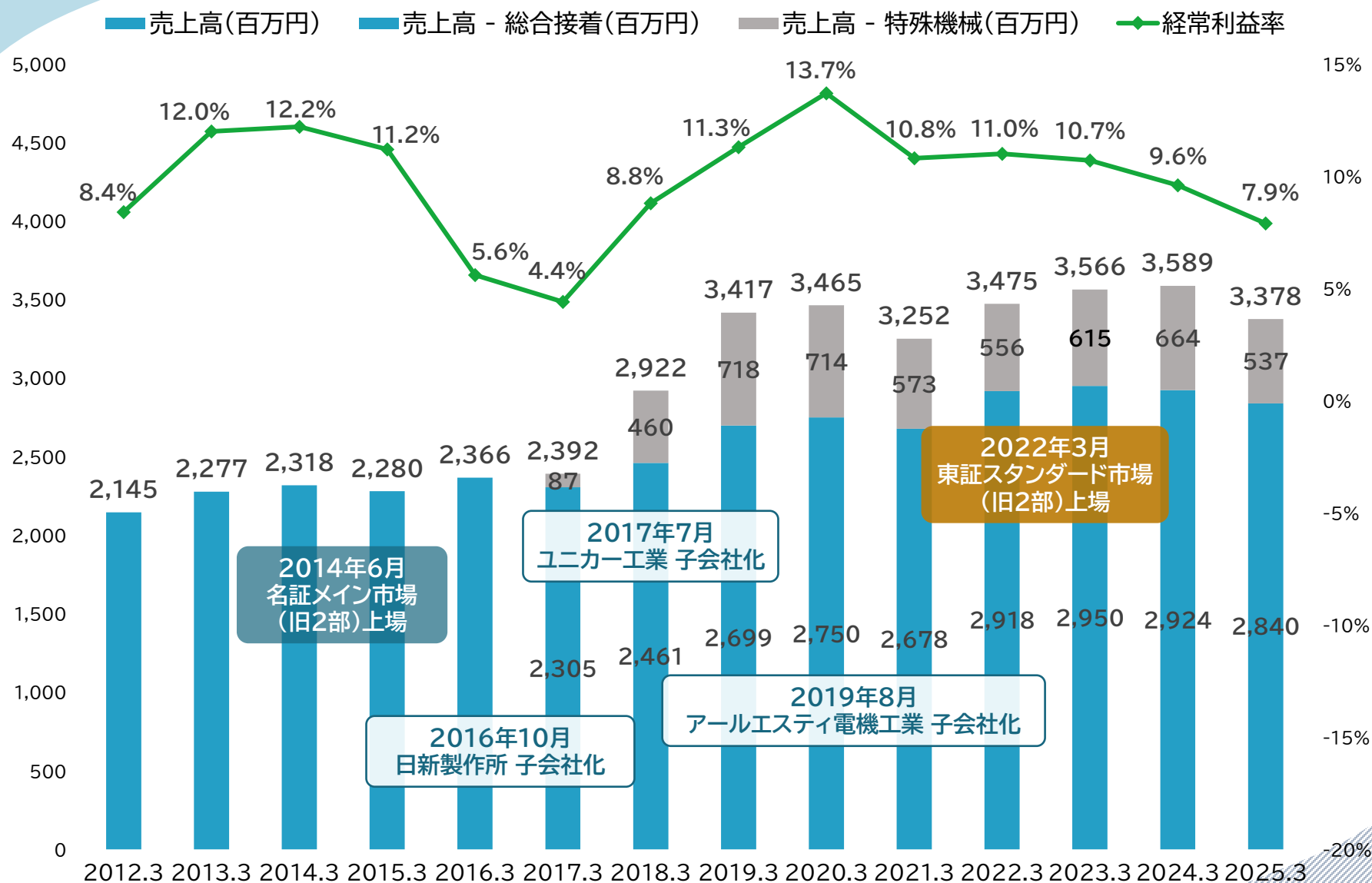
1. 2025年3月期通期決算概要<セグメント：総合接着樹脂加工>



1. 2025年3月期通期決算概要<セグメント:特殊設計機械>



2. 業績推移



3. トピックス

本社工場の再構築竣工

2024年12月に本社工場(名古屋)が竣工いたしました。完成した工場の延べ床面積は、3,300㎡となり、従来の工場の1.6倍となりました。

新工場の稼働により、工程の最適化配置など業務を効率化することができました。

また、老朽化も解消し、南海トラフ地震等に備え、耐震性を向上させ、従業員や製品の安全を確保しました。



3. トピックス

新規設備の導入

工場の再構築に伴って、在庫スペースの拡大と作業時の搬送に課題があったため、新たにロールストッカー(自動入出庫装置)を追加導入いたしました。工場スペースの有効活用と、工場の上下階の移動を自動化することで供給能力を増強し、作業効率の最大化を図ります。



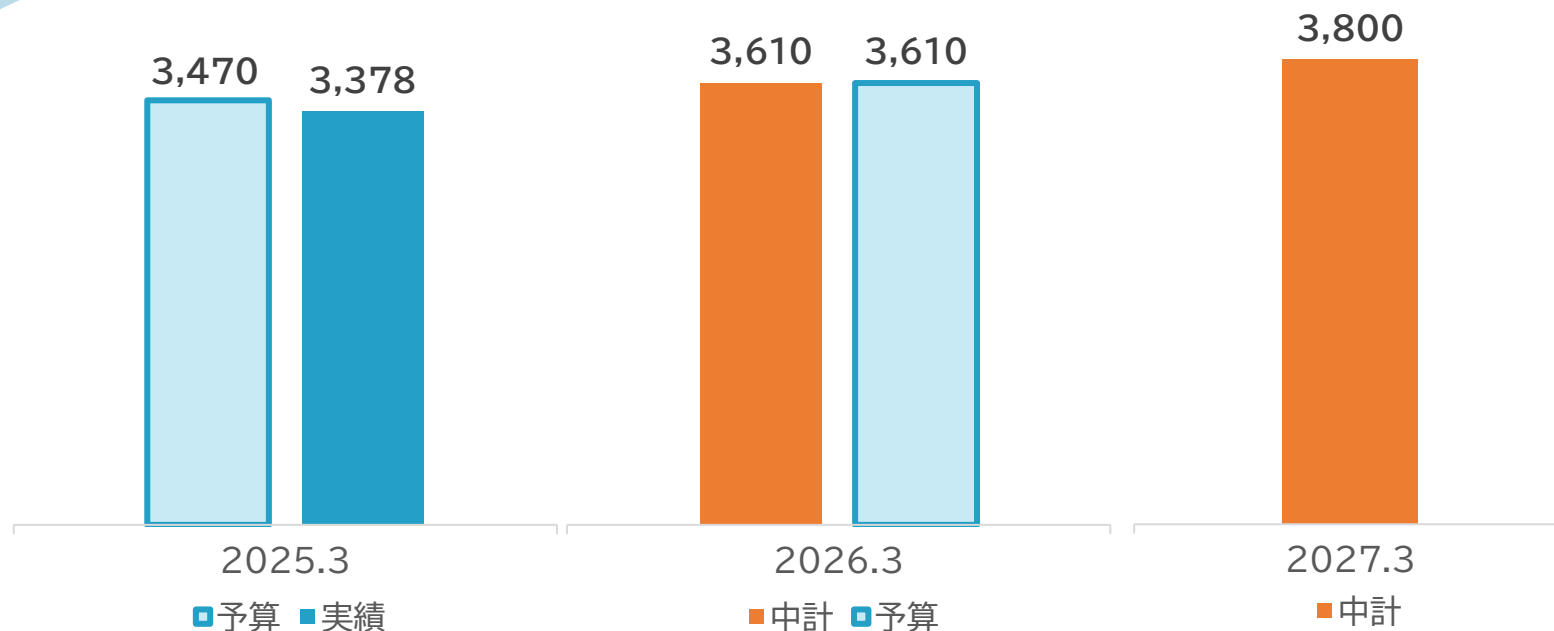
② 中期経営計画



総合接着・樹脂加工
ポパール興業株式会社
私たちはソリューション・ビジネスを推進します

- 1 中期経営計画の進捗
- 2 外部環境の認識・見通し
- 3 株主還元方針

1. 中期経営計画の進捗〈売上高〉



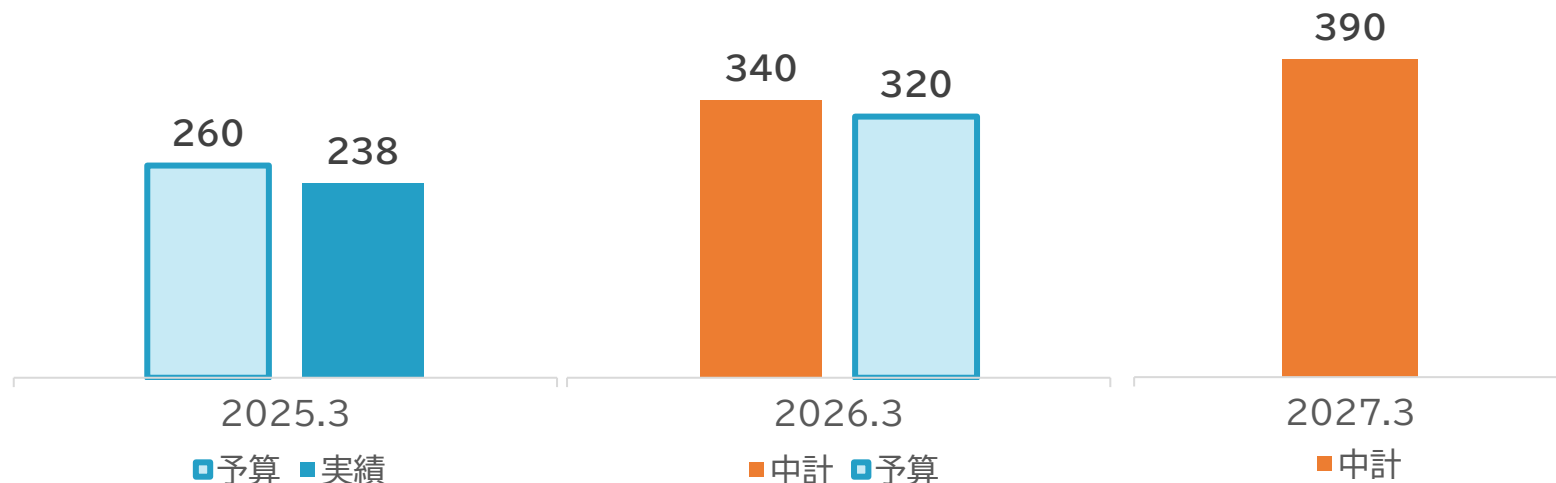
2025年3月期

研磨関連製品において、得意先の在庫調整の影響等を受けたことで、予算比97.3%と未達となりました。

2026年3月期

関税政策による世界経済の下振れリスクはあるものの、研磨関連製品の在庫調整の収束を想定し、売上高3,610百万円を目標といたしました。

1. 中期経営計画の進捗〈営業利益〉



2025年3月期

製造DXの導入などの基盤投資の負担増加、原材料・エネルギー価格の上昇が影響し、予算比91.7%と未達となりました。

2026年3月期

製造DXへの投資及び原材料・エネルギー価格の上昇の影響を考慮し、中計から▲20百万円となる320百万円を目標といたしました。

1. 中期経営計画の進捗〈特記事項〉

01

減損損失

中国子会社において、研磨関連製品の在庫調整の影響で売上が減少し、外部要因の悪化等の状況を踏まえ、固定資産の減損を実施いたしました。

02

韓国子会社閉鎖

ディスプレイ関係が中国へ順次シフトする影響に伴い、韓国子会社の生産量も逡減し、採算の確保が困難の見通しとなりました。このため、2024年8月に韓国子会社の閉鎖を決定し、現在は、清算手続き中となっております。

2. 外部環境の認識・見通し

世界情勢

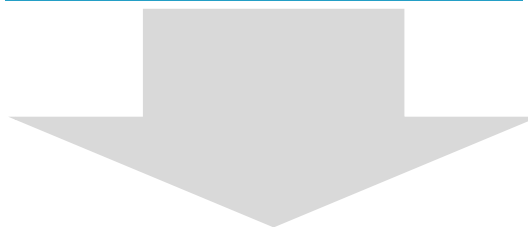
米国の政策転換、
為替等の変動、
中国経済の減速

国内情勢

雇用・所得環境の改善、
インバウンド需要の拡大
米国政策の不透明

環境問題

脱炭素社会へシフト
サステナビリティへの
重要性の高まり



- ◆ 世界経済は、米国政策による景気の下振れリスクの懸念
- ◆ 国内情勢では、雇用・所得環境の改善が見られるものの、米国政策の製造業への影響、原材料・エネルギー価格の高騰により先行き不透明
- ◆ 環境問題では、VOC規制の強化による販路の減少

3.株主還元方針

株主に対する利益還元は経営の重点課題と認識しております。

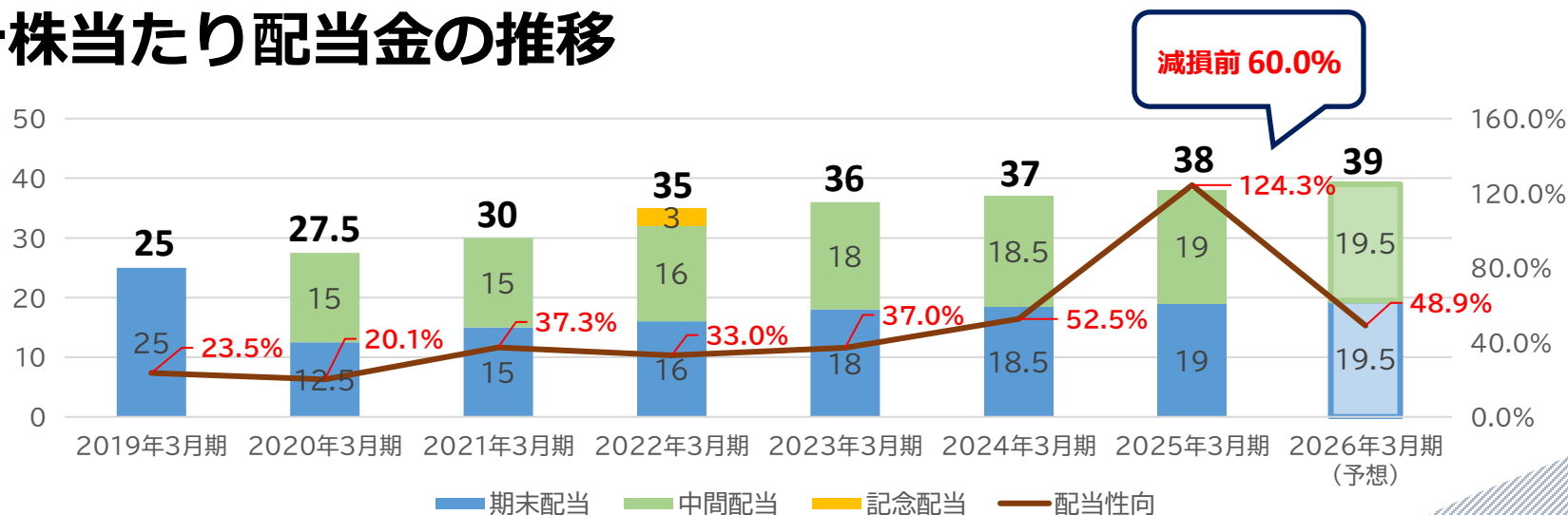
還元方針

配当政策につきましては、安定的な**増配の継続**を目標とします。
加えて、**自己株式の取得**、**株主優待制度の維持拡充**も検討しつつ、
今後も利益成長と資本効率の両面を追求してまいります。

内部留保

今後予想される経営環境の変化に対応すべく、お客様のニーズに応える開発・生産体制の強化、グローバルな事業戦略の遂行、事業領域の拡大に役立ててまいります。

一株当たり配当金の推移



免責事項

・本資料は、株主・投資家などの皆さまに当社の経営情報、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

・本資料に掲載している情報のうち過去の事実を除き、現在入手可能な情報を踏まえた当社経営者の判断に基づくものです。従って、実際の業績は、種々の要素の変化により大きく異なる結果になりうることにご注意ください。

以上のことをご理解いただき、投資に関する決定をされる場合には、当社が発行する有価証券報告書などの資料をご覧くださいなどとして、ご自身の判断で行われるようお願い致します。

- ・ I R についてのお問い合わせ先
ポバール興業株式会社 管理部 経営企画課
電話番号：052-411-1050
U R L ： <https://www.poval.co.jp/>